

第 9 期市民活動推進委員会が考える 市民活動のイメージ

市民活動の定義（市）

市民が地域又は社会における課題の発見及び解決のために、自発的かつ自主的に行う非営利で公益的な活動をいう。ただし、次のいずれかに該当するものを除く。

ア 宗教の教義を広め、儀式行事を行い、又は信者を教化育成することを目的とする活動

イ 政治上の主義を推進し、支持し、又はこれに反対することを目的とする活動

ウ 特定の公職（公職選挙法（昭和 25 年法律第 100 号）第 3 条に規定する公職をいう。以下同じ。）の候補者（当該候補者になろうとする者を含む。）若しくは公職にある者又は政党を推薦し、支持し、又はこれらに反対することを目的とする活動

⇒定義のため文言は硬くなってしまう

⇒市の定義の枠の中で、市民活動とはどのような活動なのか以下のように整理する

第 9 期市民活動推進委員会が考える市民活動のイメージ（案）

市民がそれぞれの興味ややりがいにもとづいて楽しみながら行い、それに伴い他者へのケアや地域活性化などに良い効果をもたらし、ひいては市の発展にもつながる活動。

（参考）令和 5 年度第 3 回市民活動推進委員会ワークショップ成果 [市民活動とは]

（A テーブル）

個人の興味・やりがい+他者・地域のため

（B テーブル）

- ・市民が楽しんで活動することが大切 ・にこにこしている情景
- ・企業も市民！ ・「課題解決」が前提ではない ・入口を拓げる
- ・ボランティアだけでない ・趣味が発展して地域貢献につながることもある

（C テーブル）

市の発展のための市民が主役の活動

（参考）令和 6 年度第 1 回市民活動推進委員会全体協議

市の発展のために市民が主役となりながら、それぞれの興味ややりがい、他者や地域のために楽しんで活動するもの。（R 6 年度第 1 回委員会案）

（全体協議での意見）

キーワード的には、自己実現とか生きがいとか、そういうことをもっと打ち出して、やりがい、趣味と

ということもあるのですが、結局、皆さんそういうことをなさって、自分のお金を投じている人もいると思うし、時間を相当投じているなら、地域コミュニティに貢献していることにやりがいや自己実現、生きがいを感じてらっしゃると思います。

そこを讃えるというか、そういうことで皆さんが地域への参加を通して自己実現、豊かな人生を送ってくださいみたいなトーンで入るのが良いのではないかと思います。

あとは、市の発展という、さいたま市全体と捉えられるので、地域へのコミュニティの参加とか活性化とか、あなたの暮らしやすいまちのためとか、暮らしやすいまちづくりと公共、公益的なことと個人の自己実現が両方うまくマッチできるというか、そこがポイントかと思うのですが、文言としては「これだったらやってみるか」と思えるようにすることが一番大事なかなと思います。(委員A)

私も市の発展のためという言葉がものすごく引っかかって、これありきでは活動する人はいないかなと思いました。結果としてそういったことに繋がるという、そういった程度に収めるべきものなのかなと思いました。(委員B)

趣味が結果的に地域とか市のためになったみたいなお話を聞くことがあるので、この文言は言い換えか、或いは不要なのかなと個人的には思ったところです。(委員C)

市の発展のためというよりは、市民が生きがいのためとか、自分たちが本当にやりたくてというようなことを冒頭に入れないといけないと思います。

一番後ろの方にそれが市の発展につながると嬉しいみたいなことはあっても良いと思います。でも、最初に来てはいけないと思います。市民が生きがいだったり、そういったことで主役となりながらという形なら、みんなそうだなと思うだろう(委員D)

市のためにやっているわけではなくて、やっているとためになっているというイメージですね。ためにがどこにかかるというところですけど、公益的な他者や地域の発展のためにみたいな文言にするのかなと思います。(委員E)